



# J A R L

## 青森県支部報

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟  
青森県支部

発行人：安齋 庄次 JH7DXJ  
編集人：成田 賢治 JA7GUX  
編集人：安齋三津夫 JA7CUA



### ご挨拶

一般社団法人日本アマチュア無線連盟  
青森県支部

支部長 (JH7DXJ)  
安齋 庄次



### ご挨拶

一般社団法人日本アマチュア無線連盟  
東北地方本部

本部長 (JA7AJH)  
尾形 和俊

JARL 青森県支部会員各位、県支部登録クラブ、県支部役員各位におかれましては、日ごろより県支部活動にご支援ご協力を賜りまして厚くお礼を申し上げます。

この度、私こと JH7DXJ 安齋庄次は県支部長に就任いたしました。前支部長の JR7GBL 平川氏の推挙、JARL 監事の JE7JGG 佐藤氏の推薦により、4月の通常選挙「支部区域毎の社員」(青森県支部長)に立候補、無投票当選させて頂きました。平川前支部長におかれましては大変お疲れ様でした。今後は県支部元総務幹事の経験を生かして支部運営に尽力いたしますので、各位のご協力よろしくお願いたします。

県支部運営には皆様の意見を反映するような事業計画を推進しますので、ご遠慮なくご要望などをお寄せください。

- 1、県支部登録クラブ行事への協力、後援をします。
- 2、JARL 会員勧誘運動を推進します。
- 3、渡島桧山支部との青函交流を継承します。

なお、9月16日(日)の「JARL 県支部大会とハムの集い」は、八戸アマチュア無線クラブの JL7GNT 大向会長のご尽力により、日本大学危機管理学部長の福田弥夫教授 (JA7NNQ) を講師に迎え、「危機管理とアマチュア無線」と題して記念講演がありますので多くの皆様のご来場をお待ちしています。

\*自己紹介：昭和19年(1944年)生まれ、青森市在住、  
趣味は囲碁、グランドゴルフ

昭和48年(1973年)電話級 JH7DXJ 開局  
昭和50年(1975年) JH8GKM 開局 (札幌市)  
昭和55年(1980年) JH7DXJ 再開局  
昭和57年(1982年)電信級 (3アマ免許)  
3.5Mhz~18・24Mhz~28Mhz~430Mhz 帯まで運用。

JARL 青森県支部会員の皆様方におかれましては益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は JARL 東北地方本部ならびに青森県支部の事業活動にご協力をいただき、誠に有り難うございます。

さて、2011年3月11日に発生しました東日本大震災から今年で7年が経ちました。7エリアとして筋目の年に当たる7年後を機会に、かねてから会員の皆様より要望がありました「ハムフェア」を2018年3月11日、東北地方では初めての開催となる「東北復興アマチュア無線フェスティバル」として仙台市青葉区の仙台国際センターで開催いたしました。

当日は、東北地方はもとより他エリアからも2,000人余の方々に来場していただき、盛会に開催することができました。これも一重に皆様方のご支援ご協力の賜物と感謝し、この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。

このイベントを機会に一人でも多くの方がマチュア無線に興味を持っていただければ幸いです。JARL 東北地方本部は、これからも引き続きアマチュア無線の普及と PR に努めるとともに JARL 会員増強に取り組んで参ります。

東北地方本部は青森県支部をはじめとする各県支部のご理解とご協力をいただき、アマチュア無線のニューカマーを育てる事業を最優先に展開したいと考えております。これからも東北地方のアマチュア無線の発展のために貢献できるよう頑張りますので、重ねてご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

JARL 青森県支部会員の皆様方が FB なハムライフを続けられますことを祈念しまして、2018年 JARL 青森県支部報のご発行記念の挨拶とさせていただきます。

## 第46回 JARL 青森県支部大会・ハムの集い

JARL NEWS 夏号、支部 HP をご覧下さい

### 【県支部大会】

- 日時 ・平成30年9月16日(日) 10:00 開場
- 場所 ・八戸シーガルビューホテル (八戸市鮫町小舟渡平 ☎0178-33-3636)
- 次第 10:00 ・開場 (公開運用、展示コーナー、ジャンク市など)
- 12:30 ・開会あいさつ (JARL 青森県支部長)
- ・ご祝辞 (八戸市長、JARL 会長、JARL 渡島檜山支部長)
- 13:00 ・第16回津軽海峡コンテスト表彰、第12回オール青森コンテスト表彰
- 13:30 ・前年度事業報告、同会計報告、新年度事業計画案説明、同予算案説明、質疑
- 13:50 ・記念講演会「危機管理とアマチュア無線」  
講師：日本大学危機管理学部長・福田弥夫教授
- 14:30 ・記念撮影、お楽しみ抽選会
- その他 ・記念写真の販売はありません (支部 HP 掲載データの利用自由)  
・ジャンク、展示等のブース利用は無料 (9月10日必着で事前連絡)
- 連絡先 ・JARL 県支部総務幹事・成田まで。E-Mail：[ja7gux@jomon.ne.jp](mailto:ja7gux@jomon.ne.jp)

### 【前夜祭・懇親会】

- 日時 ・平成30年9月15日(土) 18:00~
- 場所 ・八戸シーガルビューホテル宴会場
- 会費 ・宿泊&懇親会 1人13,000円 (税込み) / 懇親会のみ 1人6,000円 (税込み) ※当日頂戴します。
- 申込 ・E-Mail かハガキで8月31日(金)必着。県支部総務幹事・成田まで。(携帯：090-1066-7599)  
E-Mail：[ja7gux@jomon.ne.jp](mailto:ja7gux@jomon.ne.jp) / ハガキ：〒036-8084 弘前市高田1-11-8 成田賢治宛て



JARL 青森県支部登録クラブの近況

南部アマチュア無線クラブ

県内各局こんにちは。JE7YSH 南部アマチュア無線クラブです。会員の減少・高齢化の問題は当クラブと同様に、各クラブもご苦労されていると思います。

新たに開局する局は一定程度いるようですが、どうも仲間内だけとのQSOのみで、無線技術の興味を深める活動には関心が無いよう



です。通信マナーも仕事がらみの業務的なQSO、コールサイン送

出の無いQSOが目立ちます。当クラブではローカル各局に対して、業務的な通信はし

ない、コールサインを必ず送付するなど、特に気を付けるよう伝えております。例年実施している地域の防災訓練は、ことし10月末になりましたので、昨年製作したベストとヘルメット着用で参加します=写真④。県内コンテストでまたお会いしましょう。

JN7SY 会長 佐々木豊満

JARL 青森クラブ



4月14日、会員16人が参加して総会と懇親会を開催しました。同月29日は三内霊園内の広場で芋煮会と称して「観桜会」をメンバー7人で開催、5月27日は青函連絡船メモリアムシップ八甲田丸で「電波の日」公開運用を8局で実施しました。7月15~16日、八甲田丸で「海の日」公開運用を実施。初日の「納涼ビアパーティ」に8人が参加しました。

今後の事業計画は9月16日に八戸市で開催される第46回県支部大会への参加、同月29日~30日に旧平館村「ohおだいば」での移動運用、12月の「年忘れミーティング(忘年会)」と続きます。

この他、津軽海峡コンテスト、オール青森コンテストへの参加。7月25日で1,813回を数えた毎週水曜日のロールコール、8月号で446号となった機関誌「じょんがら」の毎月発行、ねぶたアワードの発行など。しかし、諸行事の参加者が年々少なくなり、どうすれば活性化できるのか悩みの種です。 会長 JA7BUZ 山本俊行

八戸アマチュア無線クラブ



この1年で新たに始めた取り組みが二つあります。一つは定期ロールコール。4月の通常総会で会員から提案があり、「毎月第1水曜日に145Mhz FMで」と決め、5月から始めました。参加者が少ない回もありますが、会員の親ぶくを因るとともに、新入会員の確保につなげるためにも今後も続けていきたいと考えています。

二つ目は海の日記念運用の実施です。海の日「灯台祭り」会場の八戸市鮫町、鮫角灯台の敷地内から社団局JA7YFOを運用しました=写真⑤。現地は国の名勝と国立公園の区域内にあり、アンテナ設置などに法令上の制約がありますが、灯台を管理する海上保安部のほか、環境省、国土交通省、八戸市などの理解と協力、指導を得て実現できました。「海から拓けた街・八戸」にふさわしい活動であり、来年以降もぜひ継続したいと思います。

会長 JL7GNT 大向富美郎

弘前アマチュア無線クラブ



JA7YBAは6月16日、定時総会を開き新年度事業計画、同予算案などを承認、役員改選ではJA7AXP川村敏男会長らの再任を決めました=写真④。

前年度は1月から8J7HCB弘前観桜会100周年記念局を市内3クラブ局が協力して運用、3月に8J7HAM東北復興フェスティバル特別局を持ち回り運用しました。6月の3クラブ局合同の反省会・懇親会で今後とも連携推進を確認しました。

新年度事業計画は県支部主催2コンテスト参加、JARLのニューイヤーパーティー参加など。新たに桜祭りなどイベントでの公開運用の検討を決めました。

また、ハム人口増加に向けて4アマ講習会の弘前市での開催に、引き続き協力することも申し合わせました。

事務局 JK7LXU 石岡洋一

アマチュア無線十和田クラブ



皆さんこんにちは。アマチュア無線十和田クラブも会員が少しずつ減ってきました。高齢化とともにクラブ行事実施にも多少影響が出ています。しかし、定期ロールコールは月2回開催し、10人前後のクラブ員の熱烈な変調を聞いています。

最近のQSOはHF帯が多く、これから秋にかけてさらに開けてDX交信を楽しむメンバーが増えてくると思います。

十和田市総合防災訓練が5月30日、県内で今期の先陣を切って実施されました=写真⑤。会員の大半が所属する日赤奉仕団十和田分団が災害情報の的確な伝達を目的に、避難所の体育館に仮設情報収集本部を立ち上げました。統監(十和田市長)が巡閲される中、各地の移動無線局からの情報収集と伝達訓練をスムーズに終えました。 会長 JM7GEB 小林閣則

三沢アマチュア無線クラブ



クラブ定期総会を7局が参加して2月24日、小笠原食堂「とわだっ湖」で開催。前年度事業報告、同決算報告、新年度事業計画案、同予算案を全会一致で可決しました。その後恒例の懇親会で近況報告、無線活動などの話題で楽しい時を過ごしました。今年のロールコール皆勤賞は連続33回=JH7FVD、32回=JG7NGA、20回=JF7COF、17回=JR7AWQ、7回=JA7DZH、JG7NZK、1回=JH7PJKの7局を表彰しました。

ファミリー電波教室の支援は3月4日、三沢航空科学館で45人が参加。電波の勉強とラジオ組立をしました。当クラブ3局、十和田クラブ3局、八戸クラブ1局、電波推進員3人の協力で実施しました。

クラブ活動は会員の高齢化で、津軽海峡コンテストも8月のフィールドデーも参加できず、新会員加入も無く「老人アマチュア無線クラブ」になりつつあります。

会長 JR7AWQ 五十嵐行夫

五戸地方アマチュア無線クラブ



今年もクラブ空中線常設場所で=写真①、平成30年度定時総会を開催。事業計画、予算が原案どおり承認され本年度の活動がスタートした。本年は役員改選の年であり、かねてより暗黙で次期会長が決定していたが、会長が都合により欠席。まさに「欠席裁判」で留任が決まった。

本年の事業計画はオール青森コンテスト参加など社団局(JR7ZDF)の移動運用、モービルハイキング、新年アイボールQSO(新年会)など昨年と全く同である。オール青森コンテストでは、日赤アマチュア無線奉仕団五戸分団の通信訓練を兼ねて参加した。例年のごとく懇親会は大盛況であった。

会員の新規加入者はなく、年々高齢化している。今後も地域クラブの継続的活動に努力していきたい。皆様のご指導をお願いいたします。

会長 JH7ULY 川崎謙司

津軽スカイクラブ

JA7YYM 津軽スカイクラブも年々高齢化し、なかなか活発な事業を展開できていません。それでも津軽海峡、オール青森、フィールドデーの各コンテストには常に参加し、クラブの存在感を県内外に示したいと思っています。



移動運用でフィールドデーコンテスト参加(8月5日/平川市・志賀坊高原駐車場)

今年は1月から5月まで8J7HCB弘前観桜会100周年記念特別局を運用する機会があり、積極的に県内各地に移動してJCC・JCGをサービス。記念局運用の楽しさに目覚めたような気がします。

当クラブのロールコールは毎週木曜日20:00から145.44Mhzで実施しています。7月26日現在1,760回目を数えました。ふだん一堂に介することができない会員の心のよりどころでしょうか。とりあえずの目標は第2,000回です。

県内各局、宜しくお付き合いをお願いします。会長 JA7GUX 成田賢治

オール青森DX Ass'n



オール青森DXアソセッション(AADXA)はHF・DX通信およびアマチュア無線技術に関する各種調査・研究を行い、かつ会員相互の友好増進を目的に昭和51年(1976年)10月に発足しました。

創立41年を迎えた昨年はKH2・グアム島からクラブ2回目の海外運用を行い=写真①、国内外多くのアマチュア局と交信しました。42年目の今年は10月9日から14日まで、VK9・ノーフォーク島へ3度目の海外遠征を予定しています。

クラブ発足当初から発行している会報「AADXA BULLETIN」はネットで配信、本年7月号で502号になりました。東・西2地区持ち回りで春秋2回アイボールMeetingを開催しています。クラブ員にはDXCCのHonor Rollが3局います。また、海外局が行う珍エンテティ・DXペディション支援のため、年数回のドネーション(寄付)にも取り組んでいます。事務局 JH7BVH 高田栄吉

CQ津軽ハムクラブ



こんにちは! JH7ZYM CQ津軽ハムクラブです。1985年8月のクラブ創立から今年で満33年になります。

結成当時、ほとんどのメンバーがアマチュア無線を始めたばかりでしたが、33年の活動を経て、それぞれが一端の「アマチュア無線技士」に成長したと言えるでしょう。現在FT8等を始めとする先端技術で世界制覇?を目指す者。HF帯で盛んに県内各地をPRする者。一匹狼で暇さえあれば移動運用する者。こっそりと何かを目指している者。唯我独尊で和文CWにうつつを抜かしている者。無線はともかく「仲間と飲みたいな」と言う者etc...、枚挙にいとまありません。

でも、共通して言える事は、みんなクラブと仲間が大好きと言う事でしょう。加齢とともに打てば響くような活動はできなくなりましたが、これからも、メンバーの要望を実現する活動を大切に、息の永いクラブになりたいと願う今日この頃です。会長 JF7PFW 加藤全健

BeFMアマチュア無線クラブ



八戸市政88周年を祝い昨年5月1日から9月30日までJARL特別局8J7H88Yを開設、運用しました。

周波数は3.5Mhz~430Mhz、メンバー持ち回りで運用、階上岳移動運用も行いました。交信局数は1,058局。さらにSWL局からも受信証が寄せられ、計1,069枚の記念カードを今年1月にビューロー経由で発送しました。カードの表に八戸三社大祭の山車の写真を印刷=写真①、全国に八戸市制88周年をPRしました。

また、昨年9月3日の階上岳移動での特別局運用の際、D-STARレピータのゲート越えパソコンの交換作業、および1200Mhz DDモードの10Wから1Wの電力低減固定化も行いました。

会長 JR7JAW 槻木澤 稔

日赤アマチュア無線奉仕団

当クラブは昭和45年(1970年)5月に発足した赤十字の特殊奉仕団です。青森、弘前、十和田、八戸、三沢、むつ下北、五戸の各分団で構成。災害発生時に趣味のアマチュア無線を生かし、情報の伝達をはじめ赤十字活動を通して奉仕する事を目的として設立されました。

日頃の活動はアマチュア無線による感度交換訓練を各分団で実施、各分団員との定例交信、各種防災訓練への参加、赤十字活動で行われる救急法・炊き出し訓練参加、研修会などを行っています。最近では東日本大震災の反省を踏まえ、近隣のアマチュア無線奉仕団との連携を構築するなどしています。活動に興味がある方はメールでjg7saf@jarl.com、またはFAX(0172-53-5802)でお住まいの地域、コールサイン、お名前と連絡先をお知らせ下さい。

事務局 JG7SAF 工藤眞己

Table with columns: 登録番号, クラブ名, 代表者, コールサイン, 事務局, コールサイン. Lists various amateur radio clubs and their details.

JARL 青森県支部・JARL 渡島檜山支部共催 第16回津軽海峡コンテスト結果 (2018年5月12日~13日実施)

Table with 4 columns: 管内局 (管内局), 個人・マルチの部 (個人・マルチの部), 個人・マルチの部 (個人・マルチの部), 管外局 (管外局), 支部対抗 (支部対抗). Lists participants and scores for the 16th Tsugaru Strait Contest.

第12回オール青森コンテスト結果 (2018年7月21日~22日実施)

Table with 4 columns: 県内局 (県内局), 個人・マルチの部 (個人・マルチの部), 個人・マルチの部 (個人・マルチの部), 管外局 (管外局), 支部対抗 (支部対抗). Lists participants and scores for the 12th All Aomori Contest.

広域レピータ管理団体(JP7YCD)からのお知らせ

青森県広域レピータ管理団体(JP7YCD) 代表者 JH7DXJ 安斎庄次(JARL 青森支部長)

平成29年11月、青森市・田茂岳山頂に設置されていた1291.24MHzのアナログ・レピータ局を廃止しました。

また、同所に設置されている439.22MHzのアナログ・レピータ装置を更新しました。昭和61年(1986年)開局の際に購入・設置した機器(八重洲無線FTR-5410)が古くなり、今後予期しない故障が考えられますので新機種のFMレピータ機「DR-1XJ」(YAESU無線)に取替えました。

★会員からの協力金で管理運営★ このレピータ局は、JARL直轄(免許)の広域レピータです。JARLの「開設基準及び手続き等に関する規約」に基づいて全国に開設されている「計画レピータ局」です。設置にあたりJARLから資金援助を受けず、県支部登録クラブ局や個人アマチュア局有志からの協力金により開設され、JARLの要請で当団体が維持、管理、運営を務めています。アマチュア無線局であれば誰でも利用できます。

Table titled '青森県内のアナログ・レピータ局' listing frequencies and locations like 1291.24MHz (八戸市), 439.22MHz (青森市).

★災害時でも県内全域をカバー★ 特に439.22MHzのレピータについては、災害時にも活用できるよう県内全域をカバー可能な八甲田山の田茂岳山頂に設置したいきさつがあります。また、県支部会員の皆様からの協力金は「管理運営費」として利用しています。今回の装置更新で残金が195,023円となりましたが、今後も管理運営委員が協力し合い広域レピータ局の維持運営に務めますので宜しくお願いします。

ガイダンス局運用報告

JARL 青森県支部 監査指導委員会 平成30年9月1日

Table with 4 columns: メッセージ(周知・指導)の内容 (Message content), 運用期間 (Operation period), 運用場所 (Operation location), 運用者 所見 (Operator's observations). Reports on guidance station operations.

平成29年度 JARL 青森県支部事業 報告

Table with 4 columns: 行 (Action), 事 (Event), 月日 (Date), 記事 (Notes). Reports on activities from FY2017.

平成30年度 青森県支部事業 計画

Table with 4 columns: 行 (Action), 事 (Event), 月日 (Date), 記事 (Notes). Plans for activities in FY2018.

平成29年度JARL青森県支部収支決算

Table with 2 columns: 収支 (Income/Expense), 金額 (Amount). Financial summary for FY2017.

平成30年度JARL青森県支部収支予算

Table with 2 columns: 収支 (Income/Expense), 金額 (Amount). Budget for FY2018.

平成30年度 JARL青森県支部役員

Table with 2 columns: 役職 (Position), 氏名 (Name). Lists the executive committee members for FY2018.